2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名	小倉クラッチ株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	6408	URL	https://www.oguraclutch.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	小倉　康宏
問合せ先責任者	（役職名） 取締役執行役員経営管理本部長兼グローバル財務部長	（氏名）	竹内　修　　（TEL）0277-54-7101
半期報告書提出予定日	2026年11月11日	配当支払開始予定日	2026年12月25日

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	22,437	9.2	1,073	109.4	998	165.7	738	214.7
2026年３月期中間期	20,554	△6.7	512	124.9	376	△25.1	234	△19.1

（注）包括利益　2027年３月期中間期　1,691百万円（　　－%）　2026年３月期中間期　△539百万円（　　－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	493.55	－
2026年３月期中間期	156.80	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	47,845	21,399	44.7	14,306.72
2026年３月期	47,286	19,857	42.0	13,275.10

（参考）自己資本　　2027年３月期中間期　21,399百万円　　2026年３月期　19,857百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	100.00	100.00
2027年３月期	－	50.00			
2027年３月期(予想)			－	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	8.0	1,900	37.5	1,720	22.4	1,280	△14.8	855.74

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　―社（社名）　　、　除外　　―社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	1,553,323株	2026年３月期	1,553,323株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	57,576株	2026年３月期	57,451株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	1,495,822株	2026年３月期中間期	1,496,144株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等） …… 10
（収益認識関係） …… 12

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、中東情勢をはじめとする地政学リスクの影響が続く一方で、ＡＩ関連需要を背景とした設備投資の拡大により堅調な推移を見せました。日本経済につきましても、物価上昇の継続や金利上昇、為替相場の変動などの影響は受けながらも、企業収益や雇用・所得環境などの改善を背景に景気は緩やかな回復基調となりました。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりました。その結果、当中間連結会計期間における売上高は22,437百万円と前年同期と比べ1,882百万円の増加（前年同期比9.2%増）となりました。営業利益は1,073百万円と前年同期と比べ561百万円の増加（前年同期比109.4%増）、経常利益は998百万円と前年同期と比べ622百万円増加（前年同期比165.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は738百万円と前年同期と比べ503百万円の増加（前年同期比214.7%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①　輸送機器用事業

輸送機器用事業においては、芝刈り機用の製品の販売が好調であったことや為替換算の影響などにより、米国の売上が増加しました。また国内のパワートレイン用、カーエアコン用製品の新規案件も売上増加に寄与しました。

その結果、売上高は15,157百万円と前年同期と比べ654百万円の増加（前年同期比4.5%増）となりました。一方、セグメント利益は284百万円と、材料値上げや米国における関税負担の増加などの影響を受けて前年同期と比べ98百万円の減少（前年同期比25.7%減）となりました。

②　一般産業用事業

一般産業用事業においては、国内では、世界的なＡＩ・半導体関連需要に加え、人手不足を背景とした省人化・自動化や老朽設備の更新需要が市場を下支えし、モータ、昇降・運搬、変・減速機、シャッター、金属工作、金属加工業界等向けの売上が増加しました。海外では、中国における内需の低迷や現地メーカーとの価格競争が継続したものの、モータ、変・減速機業界等向けの販売増加に加え、為替換算の影響もあり、売上が増加しました。

その結果、売上高は7,044百万円と前年同期と比べ1,207百万円の増加（前年同期比20.7%増）となり、セグメント利益は785百万円と前年同期と比べ655百万円の増加（前年同期比506.3%増）となりました。

③　その他

その他では、売上高が235百万円と前年同期と比べ21百万円の増加（前年同期比10.0%増）となり、セグメント利益は3百万円と前年同期と比べ3百万円の増加（前年同期比866.9%増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①　資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は主に、現金及び預金の減少等により31,298百万円（前期末比35百万円減）となりました。固定資産は主に、投資その他の資産の増加等により16,547百万円（前期末比594百万円増）となりました。その結果、資産合計は47,845百万円（前期末比559百万円増）となりました。

負債につきましては、流動負債は主に、短期借入金の減少等により20,053百万円（前期末比698百万円減）となり、固定負債は主に、長期借入金の減少等により6,393百万円（前期末比283百万円減）となりました。その結果、負債合計は26,446百万円（前期末比982百万円減）となりました。

純資産につきましては、為替換算調整勘定、利益剰余金の増加等により21,399百万円（前期末比1,541百万円増）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,849百万円（前年同期比12百万円増）となりました。これは主に税金等調整前中間純利益1,008百万円、減価償却費903百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は704百万円（前年同期比114百万円増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出734百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2,123百万円（前年同期比549百万円増）となりました。これは主に借入金の返済支出によるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2026年５月12日に公表いたしました業績予想を修正いたします。詳細につきましては、本日（2026年11月11日）公表いたしました「業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,560	7,808
受取手形及び売掛金	8,444	8,531
電子記録債権	2,987	2,908
商品及び製品	4,116	4,053
仕掛品	3,383	3,583
原材料及び貯蔵品	3,403	3,842
その他	492	630
貸倒引当金	△55	△60
流動資産合計	31,334	31,298
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	5,454	5,329
その他（純額）	7,183	7,260
有形固定資産合計	12,637	12,590
無形固定資産		
その他	753	932
無形固定資産合計	753	932
投資その他の資産	2,561	3,024
固定資産合計	15,952	16,547
資産合計	47,286	47,845
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,300	4,135
電子記録債務	1,561	1,353
短期借入金	13,288	12,099
１年内償還予定の社債	240	240
未払法人税等	153	112
賞与引当金	331	355
その他	1,876	1,756
流動負債合計	20,752	20,053
固定負債		
社債	900	780
長期借入金	3,958	3,396
繰延税金負債	717	963
役員退職慰労引当金	695	673
退職給付に係る負債	194	193
その他	210	386
固定負債合計	6,676	6,393
負債合計	27,428	26,446

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,751	1,751
利益剰余金	12,186	12,775
自己株式	△354	△354
株主資本合計	15,442	16,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	394	773
為替換算調整勘定	3,739	4,329
退職給付に係る調整累計額	281	265
その他の包括利益累計額合計	4,415	5,368
純資産合計	19,857	21,399
負債純資産合計	47,286	47,845

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	20,554	22,437
売上原価	17,112	18,279
売上総利益	3,442	4,157
販売費及び一般管理費	2,929	3,084
営業利益	512	1,073
営業外収益		
受取利息	44	39
受取配当金	24	26
不動産賃貸料	4	5
その他	73	69
営業外収益合計	148	140
営業外費用		
支払利息	151	168
手形売却損	1	1
為替差損	109	26
その他	21	18
営業外費用合計	284	214
経常利益	376	998
特別利益		
貸倒引当金戻入額	10	22
特別利益合計	10	22
特別損失		
固定資産除却損	1	12
特別損失合計	1	12
税金等調整前中間純利益	384	1,008
法人税、住民税及び事業税	97	114
法人税等調整額	51	156
法人税等合計	149	270
中間純利益	234	738
親会社株主に帰属する中間純利益	234	738

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	234	738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	241	379
為替換算調整勘定	△1,001	590
退職給付に係る調整額	△13	△15
その他の包括利益合計	△773	953
中間包括利益	△539	1,691
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△539	1,691
非支配株主に係る中間包括利益	―	―

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	384	1,008
減価償却費	893	903
のれん償却額	7	8
固定資産除却損	1	12
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△35	△18
賞与引当金の増減額（△は減少）	22	23
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△7	△24
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	1	△3
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△57	△21
受取利息及び受取配当金	△69	△66
支払利息	151	168
為替差損益（△は益）	162	△108
売上債権の増減額（△は増加）	6	251
棚卸資産の増減額（△は増加）	271	△323
仕入債務の増減額（△は減少）	△74	405
その他	314	△139
小計	1,972	2,075
利息及び配当金の受取額	69	65
利息の支払額	△151	△169
法人税等の支払額	△54	△121
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,836	1,849
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△411	△405
定期預金の払戻による収入	416	412
有形固定資産の取得による支出	△578	△734
有形固定資産の売却による収入	10	2
投資有価証券の取得による支出	△3	△1
貸付けによる支出	△5	△0
貸付金の回収による収入	1	1
その他	△19	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△589	△704

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,788	2,476
短期借入金の返済による支出	△3,539	△3,647
長期借入金の返済による支出	△698	△616
社債の償還による支出	－	△120
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△74	△148
その他	△49	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,574	△2,123
現金及び現金同等物に係る換算差額	△363	232
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△690	△745
現金及び現金同等物の期首残高	7,470	8,100
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,780	7,354

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,503	5,837	20,340	214	20,554
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	9	16	－	16
計	14,510	5,846	20,357	214	20,571
セグメント利益	382	129	512	0	512

（注）　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	512
「その他」の区分の利益	0
中間連結損益計算書の営業利益	512

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,157	7,044	22,201	235	22,437
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	6	17	－	17
計	15,168	7,051	22,219	235	22,455
セグメント利益	284	785	1,069	3	1,073

（注）　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,069
「その他」の区分の利益	3
中間連結損益計算書の営業利益	1,073

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（収益認識関係）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
日本	6,166	3,572	9,739	179	9,919
中国	271	1,850	2,121	－	2,121
アジア（中国除く）	2,047	141	2,189	－	2,189
米国	4,015	142	4,158	31	4,190
欧州	1,274	10	1,284	－	1,284
その他	728	119	847	2	850
顧客との契約から生じる収益	14,503	5,837	20,340	214	20,554
外部顧客への売上高	14,503	5,837	20,340	214	20,554

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
日本	6,260	3,870	10,130	188	10,319
中国	266	2,446	2,713	－	2,713
アジア（中国除く）	1,953	218	2,171	0	2,171
米国	4,477	359	4,836	46	4,883
欧州	1,291	30	1,322	0	1,322
その他	908	119	1,027	0	1,028
顧客との契約から生じる収益	15,157	7,044	22,201	235	22,437
外部顧客への売上高	15,157	7,044	22,201	235	22,437

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。